

教科名	社 会 (地理的分野) (歴史的分野)	週時間数	3時間	学年	2年
使用教科書 副教材等	・教科書:中学生の地理(帝国書院)、地図帳(帝国書院)、新しい社会歴史(東京書籍) ・資料集:地理資料集世界・日本2023(新学社)、歴史資料集(新学社) ・ワーク:地理の自主学習Ⅱ(新学社) 歴史の学習Ⅰ・Ⅱ(新学社)				

教科のねらい	社会科では、多面的・多角的な見方や考え方ができる学習の場として、生徒の「主体的に学ぶ姿勢」「思考力・判断力・表現力」を育むことを目指して学習をしていきます。また、基礎的な知識を身につけるとともに、他国の文化や伝統を尊重できる国際人としての自覚を身につけることも目指していきます。		
授業の進め方	授業は教科書を中心に進め、自分に合った学び方で授業を進めていきます。プリントとPCを併用していきます。プリントでは用語の確認をしたり、自分の意見を書きましょう。PCは資料を見たり、意見をまとめたり、仲間と協働したりするときに用います。		
定期考査	出題方針	授業で学習したことを中心に問題を出題し、観点別に問題を出題します。教科書の内容を覚えるだけではなく、資料を読み取る力・思考力・表現力も必要となります。	
	範囲 (予定)	1学期中間	地形図の使い方・日本の地域的特色
		1学期期末	日本の諸地域
		2学期中間	日本の諸地域
		2学期期末	日本の諸地域・安土桃山時代
		学年末	近世の日本、開国と近代日本の歩み
	主体的に学習に取り組む態度	授業の振り返り、授業中の様子、提出物、課題への取り組み	
	思考力・判断力・表現力	定期テスト、節のまとめ、授業中の様子	
知識・技能	定期テスト、単元テスト(小テスト)		
学習方法 (先生からのアドバイス等)	・授業中の課題や社会の事柄に対して、自分の意見や考えを持ち、表現していこう。 ・仲間の意見、考えをしっかりと聴きましょう。わからないこと、疑問は聴きましょう。 ・知識の定着に向けては、ワークを繰り返すことや自主学習を進めましょう。		

学期	月	単元	学習内容	学習のポイント
1	4	○日本の地域的特色	・日本の地域的特色	・日本の地形と気候,それが原因で起きる災害を理解する。 ・資源の分布特徴と産業の関係を理解する。 ・持続可能な社会を実現するために、再生可能エネルギーによる発電が行われていることを理解する。
	5	○日本の諸地域	・九州地方	・地方ごとの自然、人口、生活産業、文化などの特徴について関連性を踏まえて理解する。
	6		・中国、四国地方	
	7		・近畿地方	
2	9	近世の日本	・中部地方	・地方ごとの自然、人口、生活産業、文化などの特徴について関連性を踏まえて理解する。
			・関東地方	
	10		・東北地方	
			・北海道地方	
	11		・ヨーロッパ人との出会いと全国統一	・ヨーロッパ人来航の背景と影響を理解する。
	12		・江戸幕府の成立と対外政策 ・産業の発達と幕府政治の動き	・江戸幕府の成立と統一政権の諸政策、対外関係について理解する。 ・産業や交通の発展、教育の普及と文化の広がりをもとに町人文化が形成されたことを理解する。 ・生活の変化に伴って行われる4つの政治改革を理解する。
3	1	○開国と近代日本の歩み	・欧米における近代化の進展	・欧米諸国における産業革命・市民革命などをもとに、欧米諸国がアジアへ進出したことを理解する。
	2		・欧米の進出と日本の開国	・欧米諸国がアジアに進出したことで日本が開国し、人々の生活が大きく変化したことを理解する。
	3		・明治維新	・明治維新によって近代国家の基礎が整えられたことを理解する。
			・日清・日露戦争と近代産業	・日清戦争と日露戦争、条約改正などにより日本の地位が向上したことを理解する。 ・我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。